

2014年3月期 第3四半期 決算説明資料



日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2014年2月4日

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2013/3 第3四半期 累計	2014/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
売上高	90,902	101,444	11.6
国内売上高	74,900	79,358	6.0
海外売上高	16,002	22,086	38.0
営業利益	7,923	8,380	5.8
経常利益	8,543	9,780	14.5
四半期純利益	5,157	6,095	18.2

← ● 為替の影響: 約+33億円(+21%)

← ● 粗利率: 50.8% → 50.2%
販管費率: 42.1% → 41.9%

← ● 為替差益: 約10億円

平均レート	(2012/12)	(2013/12)
1ドル	80円	98.3円
1ユーロ	102円	131.7円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 11.6%増

- ・国内：病院・診療所市場、PAD市場ともに好調に推移。
- ・海外：円安の影響もあり、全ての地域、全ての商品群で増収。デフィブテック社の売上も寄与。

営業利益：前年同期比 5.8%増

- ・原価率：円安により輸入原材料・商品の価格が上昇。

経常利益：前年同期比 14.5%増

- ・円安により、為替差益1,035百万円を計上。

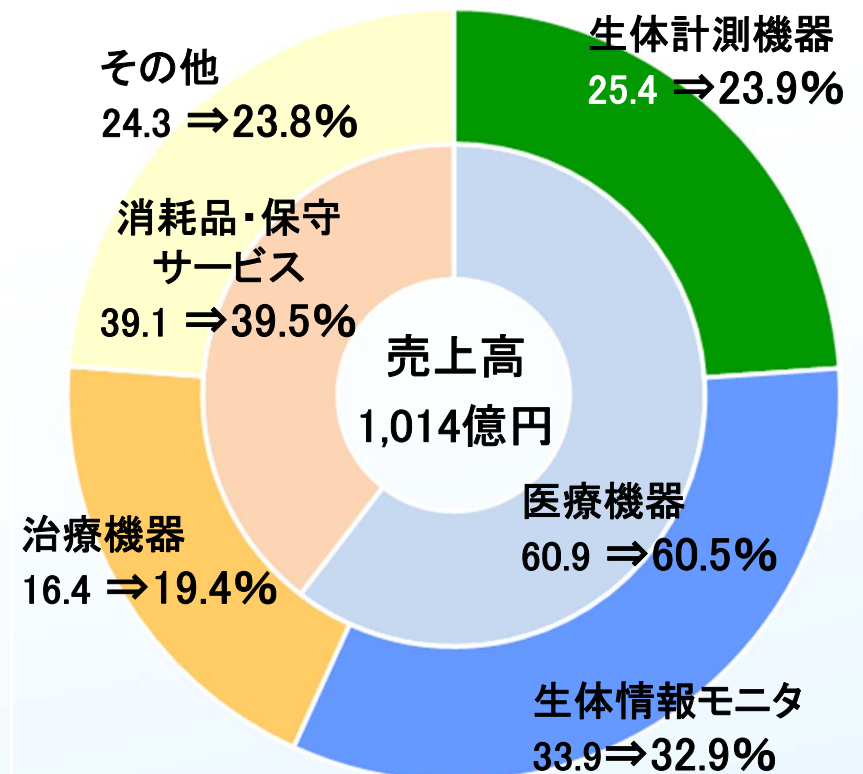
3) 商品群別売上高

(単位: 百万円)

	2013/3 第3四半期 累計	2014/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	23,082	24,229	5.0
生体情報モニタ	30,789	33,398	8.5
治療機器	14,945	19,679	31.7
その他	22,083	24,136	9.3
売上高合計	90,902	101,444	11.6
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	35,528	40,114	12.9

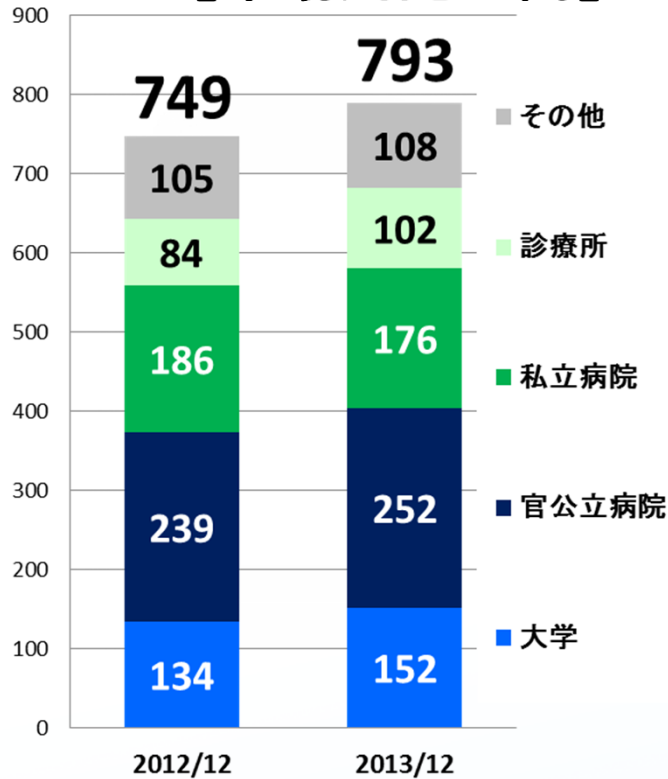
商品群別売上構成比

(2012/12 ⇒ 2013/12)



4) 国内売上高

(億円) 【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2013/3 第3四半期 累計	2014/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	18,884	18,798	△ 0.5
生体情報モニタ	22,951	24,040	4.7
治療機器	13,267	15,169	14.3
その他	19,797	21,350	7.8
売上高合計	74,900	79,358	6.0

【市場別】 大学、官公立病院、診療所市場が好調に推移。

【商品群別】 生体計測機器: 心臓カテーテル検査装置群は好調に推移するも、

脳神経系群、心電計群、診断情報システムが前年同期を下回る。

生体情報モニタ: 新商品が寄与したほか、センサ類などの消耗品が好調に推移。

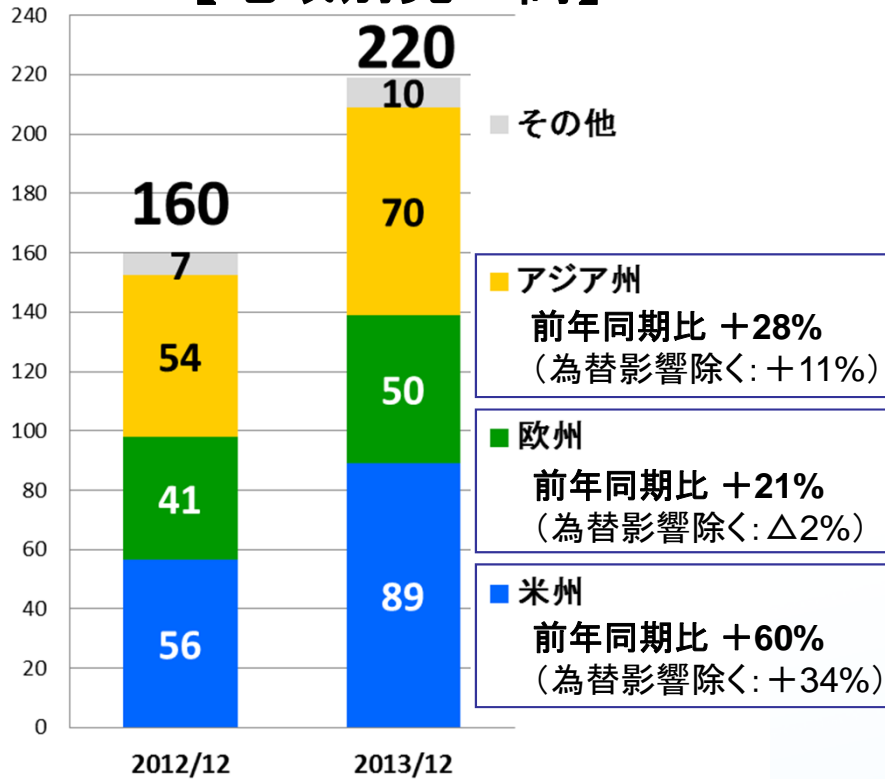
治療機器: ラインアップ充実やAEDリモート監視システムが好評で、AEDが大幅に伸長。

ペースメーカ、ICDも前年同期を上回る。

その他: 新商品効果により、検体検査装置が好調に推移。仕入品も前年同期を上回る。

5) 海外売上高

(億円) 【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2013/3 第3四半期累計	2014/3 第3四半期累計
17.6%	21.8%

【商品群別売上高】 (単位:百万円)

	2013/3 第3四半期 累計	2014/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	4,198	5,431	29.4
生体情報モニタ	7,838	9,358	19.4
治療機器	1,678	4,510	168.7
その他	2,286	2,786	21.9
売上高合計	16,002	22,086	38.0

為替の影響: 約+33億円 (+21%)

- 【地域別】 米州: 米国、中南米ともに売上が大幅に伸長。
 欧州: 前年同期のロシアにおける大幅増収の反動もあり、現地通貨ベースでは前年同期に届かず。
 アジア州: 現地販売・サービスの体制強化を進めるインド、中近東で売上が大幅に伸長。
 中国は、日中関係の影響は徐々に緩和するも、現地通貨ベースでは前年同期を下回る。
- 【商品群別】 生体計測機器: 全ての州で、脳神経系群、心電計群ともに好調に推移。
 生体情報モニタ: 米州は円安の影響もあり大幅伸長。アジア州はインド、中近東を中心に好調に推移。
 欧州は前年同期を下回る。
 治療機器: 全ての地域で、除細動器、AEDが好調に推移。デフィブテック社も寄与。
 その他: 全ての地域で血球計数器が好調に推移。

6)トピックス①

アライアンス強化により、人工呼吸器・麻酔器の
ラインアップを拡充し、ソリューション提案力を強化

2013年12月ハイネン・レーヴェンシュタイン社、アコマ医科工業社と業務提携

ハイネン・レーヴェンシュタイン

ヨーロッパを中心に
高い納入実績を持つ
ドイツの呼吸器・麻酔器メーカー



アコマ医科工業

国内を中心に
高い納入実績を持つ
1921年創業の
呼吸器・麻酔器メーカー



手術室、ICUへのソリューション提案を強化

生体情報モニタ



日本光電製

人工呼吸器



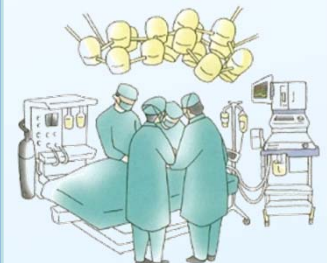
ハミルトン社製 メラン社製

麻酔器



ハイネン・レーヴェンシュタイン社製

アコマ社と
共同開発



6)トピックス②

生体情報モニタで、5つ星評価を獲得

ECRI Institute社が、生体情報モニタ 7社を評価



2社(日本光電)



2社

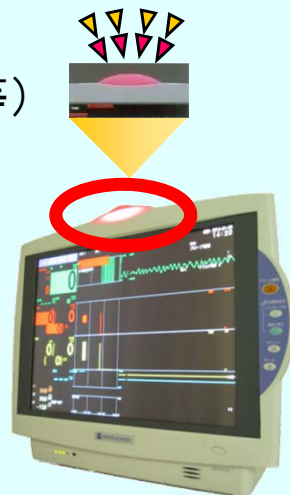


3社



【評価基準】

- アラーム全般(種類・表示内容等)
- アラーム設定・システム構成のセキュリティ
- 患者データの連続管理
- 他モニタの情報表示機能
- ネットワーク接続
- 画面付き送信機



■ECRI Institute社

米国の独立系非営利団体。旧社名は、Emergency Care Research Institute。医療安全情報を取りまとめ、医療機関に対するコンサルタント、医療従事者に対する研究会、情報配信サービスなどを提供。

7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2013/3 第3四半期 累計	2014/3 第3四半期 累計	増減額	2013/3 実績	2014/3 予想
減価償却費	2,032	2,218	185	2,853	3,500
研究開発費	4,570	5,087	517	6,424	7,300

【2014/3下期計画】

主な設備投資： 新製品の「型」投資、販促用製品、ERPシステム、富岡新工場の取得(18億円)


8) 通期業績見通し

(単位:百万円)

	2013/3 前期実績	2014/3 予想	増減率 (%)
売上高	132,538	145,000	9.4
国内売上高	110,215	113,500	3.0
海外売上高	22,322	31,500	41.1
営業利益	13,484	15,000	11.2
経常利益	14,658	15,000	2.3
当期純利益	9,151	9,500	3.8

海外売上高比率 16.8% 21.7%

平均レート	2013/11/1時点		
	2013/5/8時点	(通期)	(下期)
1 ドル	83円	90円	98円
1 ユーロ	106円	118円	132円



※2月4日時点では、第4四半期以降の為替レートは103円/米ドル、140円/ユーロ、通期の為替レートは100円/米ドル、134円/ユーロの見通しです。

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2013/3 前期実績	2014/3 予想		増減率 (%)
		期初	11月1日修正	
生体計測機器	33,871	36,900	36,400	7.5
生体情報モニタ	43,661	47,900	48,000	9.9
治療機器	21,604	26,250	26,800	24.1
その他	33,400	33,950	33,800	1.2
売上高合計	132,538	145,000	145,000	9.4

(ご参考)

消耗品・保守サービス	49,149	52,200	53,000	7.8
------------	--------	--------	--------	-----

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003